

# 事業評価票

<b>343</b>	<b>区市町村道における無電柱化の促進</b> (建設局道路管理部／一般会計)	事業開始	平成 20 年度
		事業終期	平成 31 年度

## 【局評価】

<b>1</b>	<b>どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成19年に、今後10年間の都道の無電柱化の方針と、区市町村が行う無電柱化の促進についてまとめた東京都無電柱化方針を策定した。</li> <li>○ この中で、区市町村道の無電柱化に対する促進施策として、区市町村の財政負担を軽減する方策を検討することとし、20年度に区市町村への財政支援のための補助制度を創設した。</li> <li>○ 26年に策定した東京都無電化推進計画（第七期）に基づき、「都市防災機能の強化」「安全で快適な歩行空間の確保」「良好な都市景観の創出」を実現させるため、区市町村への技術支援や財政支援を行い、面的な無電柱化を推進する。</li> </ul>	
<b>根拠法令等</b>	電線共同溝の整備等に関する特別措置法

<b>2</b>	<b>どのように取り組み、どのような成果があったか</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成20年度から、センター・コア・エリア内、主要駅周辺、主要観光地周辺等について、区市町村と連携し、面的な無電柱化を推進するため、都費補助制度による財政支援に取り組んできた。</li> <li>○ あわせて、電線共同溝講習会の開催や電線共同溝整備マニュアル・地上機器設置の手引きの作成等による技術支援にも取り組んできた。</li> <li>○ 27年度から、補助対象に防災に寄与する路線を追加し、財政支援を行っている。</li> <li>○ また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、合意した6区2市の競技会場周辺の対象路線については、31年度までに無電柱化を完了させることとし、補助率を引き上げて財政支援を行っている。</li> </ul>	

<b>3</b>	<b>どのような課題や問題点があったか</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都内公道約24,500kmのうち、区市町村道は約21,800kmでおよそ9割を占めているが、狭隘な道路が多く、現在の都のマニュアルによる整備方式では、技術的な課題があり、無電柱化が進んでいない。</li> <li>○ また、無電柱化にかかるコストが高いことも、財政基盤の弱い区市町村にとって、無電柱化が進まない要因の一つとなっている。</li> <li>○ このため、事業実績の少ない区市町村が多く、計画的かつ継続的に無電柱化事業に取り組むことができない状況にある。</li> </ul>	

<b>4</b>	<b>局として、事業をどうしていきたいか</b>														
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: none;"><b>拡大・充実</b></td> <td style="border: none;">見直し・再構築</td> <td style="border: none;">移管・終了</td> <td style="border: none;">その他</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都の技術支援により、区市町村が事業経験や狭隘な道路での技術的なノウハウを蓄積することで、より一層面的な無電柱化の推進を図る。</li> <li>○ 具体的には、区市町村が無電柱化に取り組む路線において、狭隘な道路における地上機器設置箇所や都の新技術等の低コスト手法導入等の検討を区市町村と技術検討会において実施する。</li> <li>○ 各区市町村の無電柱化推進計画策定に係る調査費や事業検討に係る設計費、工事費等について、補助制度を拡充し、財政支援を行っていく。</li> </ul>		<b>拡大・充実</b>	見直し・再構築	移管・終了	その他										
<b>拡大・充実</b>	見直し・再構築	移管・終了	その他												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="background-color: #e1f5fe;"><b>歳入</b></td> <td>27年度決算額</td> <td>176,828 千円</td> <td rowspan="3" style="background-color: #e1f5fe;"><b>歳出</b></td> <td>27年度決算額</td> <td>260,304 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度予算額</td> <td>457,765 千円</td> <td>28年度予算額</td> <td>457,765 千円</td> </tr> <tr> <td>29年度見積額</td> <td>844,271 千円</td> <td>29年度見積額</td> <td>844,271 千円</td> </tr> </table>		<b>歳入</b>	27年度決算額	176,828 千円	<b>歳出</b>	27年度決算額	260,304 千円	28年度予算額	457,765 千円	28年度予算額	457,765 千円	29年度見積額	844,271 千円	29年度見積額	844,271 千円
<b>歳入</b>	27年度決算額		176,828 千円	<b>歳出</b>		27年度決算額	260,304 千円								
	28年度予算額		457,765 千円			28年度予算額	457,765 千円								
	29年度見積額	844,271 千円	29年度見積額		844,271 千円										

## 【財務局評価】

<b>5</b>	<b>財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都内の大半を占める狭隘道路において無電柱化を進めるためには、区市町村の協力が不可欠であり、技術的及び財政的な面での支援が求められる。</li> <li>○ その上で、区市町村に対して早期の事業着手を促す仕組みが必要である。</li> </ul>	

<b>6</b>	<b>29年度予算で、どのように対応したか</b>							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: none;"><b>拡大・充実</b></td> <td style="border: none;">見直し・再構築</td> <td style="border: none;">移管・終了</td> <td style="border: none;">その他</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区市町村に早期着手を促すために、設計費及び工事費への全額補助は平成30年度までに着手することを要件とする調整をした上で、見積額のとおり計上する。</li> </ul>					<b>拡大・充実</b>	見直し・再構築	移管・終了	その他
<b>拡大・充実</b>	見直し・再構築	移管・終了	その他					
<b>歳入</b>	<b>29年度予算額</b>	844,271 千円						
<b>歳出</b>	<b>29年度予算額</b>	844,271 千円						